

**片山伸** **文芸批評家。わずかな期間に、教育について説得力ある著書を多数公にし、早世した。**

かたやましん

秩父事件・1884 = 愛媛県の波止浜村で村長の子に生まれ、

向学心が極めて旺盛で、

初の対等条約1888 = 4歳：学齢前に小学校に入学。

**帝国憲法発布**1889 = 5歳：

帝国議会始・1890 = 6歳：一家で松山市に移住、外側小学校に転校、

悪戯に長じて成績優秀だったことからイジメに遭い、権威主義的な世界への反抗心が育まれる。

郡司千島探検1893 = **9歳**：

**日清戦争始**・1894 = 10歳：この年、

**日清戦争終**・1895 = 11歳：父の斡旋で戸籍を訂正して、やはり学齢前に愛媛県尋常中学校(松山東高等学校の前身)に入学。

**谷本富**が「**实用教育学及び教授法**」「**科学的教育講義**」を著したことで、**ヘルバルト派の教授法が全盛となるなか、教育を受ける。**

**ビ7/国産化**・1900 = 16歳：卒業し、東京専門学校に入学したが、脚気のため休学、帰省して多度津の小学校の教壇に立った後、

田中正造直訴1901 = 17歳：復学。

教科書疑獄・1902 = **18歳**：

**日露戦争終**・1905 = 21歳：

大逆事件判決1911 = **27歳**：\_早稲田大学の教壇に立ち、

**明治天皇没**・1912 = 28歳：

21ヶ条要求・1915 = 31歳：\_早大留学生としてロシアに派遣され、モスクワやペオグラードの大学で研究、

民本主義・1916 = 32歳：\_この年、フランスからロシアに滞在して帰国した一ヶ年上の山本鼎の影響を受けてか、

**ロシア革命**・1917 = 33歳：\_<ロシア革命>を体験し、各地で民情を視察して、

本格政党内閣1918 = 34歳：\_帰国すると、教育論を展開するようになり、

**大正11条約**・1919 = 35歳：\_\*長野県の小学校で山本鼎が開いた日本最初の児童自由画展覧会に駆けつけ、以後、集中的に発表、

大暴落・1920 = **36歳**：「トルストイ画譜」、

**原敬首相暗殺**1921 = 37歳：\_小原国芳らとの(八大教育主張講習会)に出講する一方、山本鼎の(芸術自由教育)創刊にも参加、

水平社結成・1922 = 38歳：\_\*代表作「**文芸教育論**」としてまとめて、

治安維持法・1925 = 41歳：「文学評論」、

共産党事件・1928 = 44歳：「露西亜文学研究」。\_没した。

峰島旭雄「近代日本思想史の群像」、